調べ学習・探究でのAIの使いどころ

探究のそれぞれの場面で、AIに何を手伝ってもらい、自分は何をするか

1 課題の設定	2 情報の収集	3 整理・分析	4 まとめ・表現
AI AIが手伝えること（例）			AIの答えはまちがうことがある。そのまま使わない
調べたいことについて、問いの案をいくつか出す	調べ方やキーワードの案を出す。長い文を短くまとめる	表やグラフのたたき台をつくる。くらべる観点の案を出す	文章の分かりにくいところやまちがいやすいところを指摘する
自分がすること・気をつけること			
何を調べるかは、自分で決める 案は、考えを広げるために使う	**本や公式のサイトなど、元の資料でたしかめる** どこから集めたか（出典）を記録する	**数や結果が正しいかたしかめる** 何が分かるかは、自分で考える	**自分のことばで書く** AIを使ったところと使い方を書いておく

新しい課題を見つけて、くり返す

使う前に AIを使うかどうか、どこで使うかは、学習のねらいと学校のきまりで決める。先生がAIを操作して見せることもある。

※ AIができることの例。どのAIでも同じようにできるとはかぎらない。